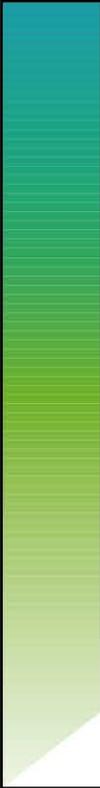


NSG
GROUP



NSG グループ

2014年3月期第3四半期決算報告

(2013年4月1日～2013年12月31日)

日本板硝子株式会社
2014年1月31日

クレメンス・ミラー
代表執行役副社長兼COO

マーク・ライオンズ
代表執行役副社長兼CFO

2014年3月期第3四半期決算報告
(2013年4月1日～2013年12月31日)



アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- まとめ

要点：2013年4月-12月



- 累計第3四半期業績は見通しどおり
- コスト削減により前年比で営業利益改善
- 市場状況は引き続き安定
- リストラ施策は計画通り進捗、生産効率の改善を継続

2014年3月期第3四半期決算報告
(2013年4月1日～2013年12月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

まとめ

連結損益計算書



(億円)	14年3月期 4月-12月期	13年3月期 4月-12月期	前年比
売上高	4,512	3,850	17%**
無形資産償却前営業利益	142	47	
償却費*	(58)	(50)	
個別開示項目前営業利益(損失)	84	(3)	
個別開示項目	(95)	(211)	
営業損失	(11)	(214)	
金融費用(純額)	(132)	(119)	
持分法による投資利益	8	10	
税引前損失	(135)	(323)	
当期損失	(137)	(327)	
親会社の所有者に帰属する当期損失	(148)	(333)	
EBITDA	380	261	46%

*ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

**為替変動を除くと0%

コスト削減により前年比で営業利益改善

2014年1月31日 | 2014年3月期第3四半期決算報告

7

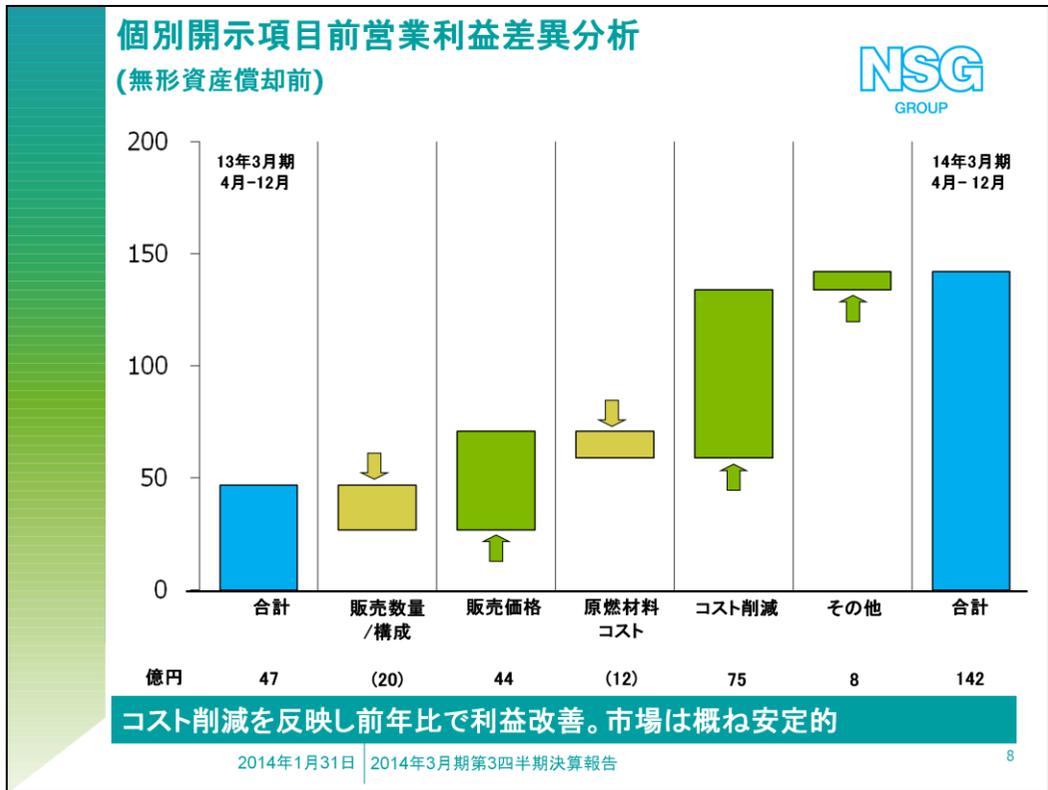
売上高は4512億円で前年同期比で17%の増収となりました。ただし、増加分は円安に伴う為替換算の影響によるものです。

概ね横ばいの市況が続く中、無形資産償却と個別開示項目前の営業利益は前年比で改善しました。

現在進めているリストラクチャリング施策は計画通りに進捗しており、それに伴い個別開示項目費用が発生しています。

金融費用は、退職後給付に関する会計基準の改定に伴う影響を含んでいます。比較し易いように、前年同期の数字は、改定後の基準に基づき調整した数値を示しています。

当期損益は、営業利益の改善と個別開示項目費用の減少に伴い、前年同期に比べ、損失幅が縮小しました。



数量に関しては、数量が増えた市場と減少した市場が混在し、欧州の建築用ガラスと高機能ガラス事業で数量が減少しましたが、自動車用ガラス事業では数量が増加しました。

価格は大半の市場において前年並みで推移したものの、依然として多くの市場で低水準に留まっています。ただし、主に円安の影響で一部輸出製品の価格は上昇しました。

リストラクチャリング施策によるコスト削減効果は前年同期比で75億円増加しました。通期業績予想の通り、期末時点では100億円のコスト削減による利益効果の実現を見込んでいます。

連結キャッシュフロー



	14年3月期 4月-12月期 (億円)	13年3月期 4月-12月期 (億円)
当期損失	(137)	(327)
減価償却費	302	264
運転資本の増減	(59)	52
法人所得税支払額	(27)	(41)
その他	(134)	34
営業活動によるキャッシュフロー	(55)	(18)
固定資産の取得	(161)	(220)
その他	49	9
投資活動によるキャッシュフロー	(112)	(211)
フリーキャッシュフロー	(167)	(229)

2014年1月31日 | 2014年3月期第3四半期決算報告

9

基調となるキャッシュフローは引き続き改善しています。

当第3四半期のキャッシュフローは、リストラクチャリング施策に関連したキャッシュ支出のタイミングと運転資本の一時期的な増加によりマイナスの影響を受けましたが、運転資本は第4四半期には再び減少する見通しです。

主要財務指標(KPI)



	2013年12月末	2013年3月末
ネット借入(億円)	3,999	3,608
ネット借入/EBITDA	8.1x	9.6x
ネット借入/純資産比率	2.1	2.3
	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	3.6x	2.8x
営業利益率*	3.2%	1.2%

*無形資産償却と個別開示項目前営業利益

収益改善を反映したKPI

2014年1月31日 | 2014年3月期第3四半期決算報告

10

ネット借入残高は、主として円安の影響により増加しました。

一方で円安による為替換算の影響で、自己資本は増加しております。

ネット借入／EBITDA比率は、EBITDAの増加により改善しており、この改善傾向は当年度の残りの期間を通して続く見込みです。

2014年3月期第3四半期決算報告
(2013年4月1日～2013年12月31日)

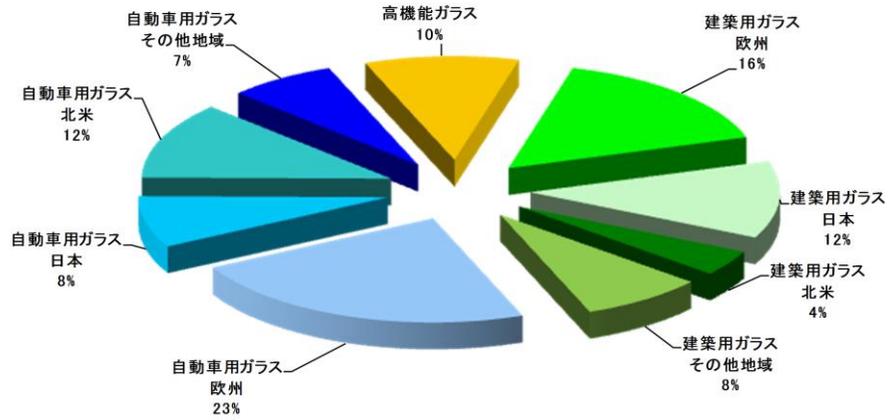


アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- まとめ

事業別売上高

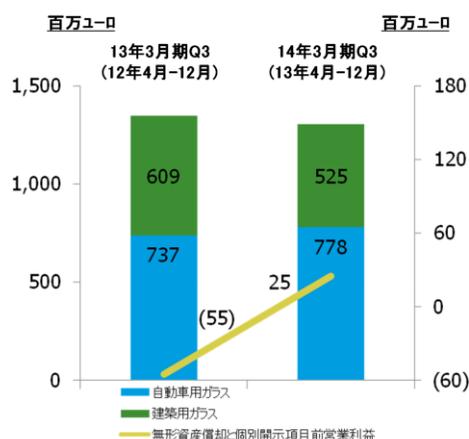
4,512億円



2014年3月期
(4月-12月)

地域別の売上高構成比率は欧州が約40%、日本が25%、北米が16%、その他地域が19%となっています。

欧州 2013年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 累積販売数量は窯の削減に伴い前年比10%減少
- コスト削減により収益改善
- 英国コーリーヒルのフロートラインを休止

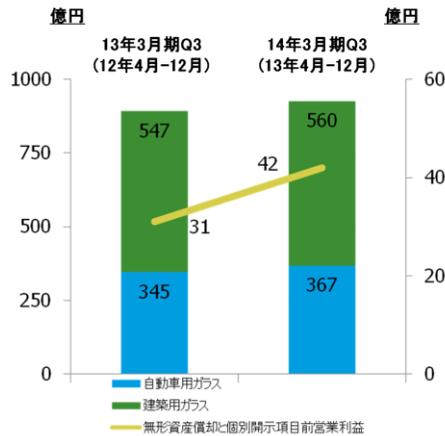
自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラスの需要は安定的に推移し、当第3四半期に改善の兆し
- 補修(AGR)用ガラスの需要は増加
- リストラ施策により利益改善

欧州の建築用ガラス市場の需要は安定的に推移しましたが、依然として歴史的な低水準となっています。当社グループの数量は、不採算の製造ラインを閉鎖したことに伴い、前年との比較では約10%減少しています。価格は安定的に推移しており、リストラチャリング施策の効果により、引き続き営業利益を計上しました。

自動車用ガラス事業については、新車向け(OE)市場では、厳しい状況が続いていますが、当第3四半期において改善の兆しも見られました。補修用(AGR)部門の業績は、需要の増加によって改善しました。自動車用ガラス事業の営業利益は、主にリストラチャリング施策の実施に伴うコスト削減効果により、改善しました。

日本
2013年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- マーケット指数はポジティブ
- 数量と価格は前年並み

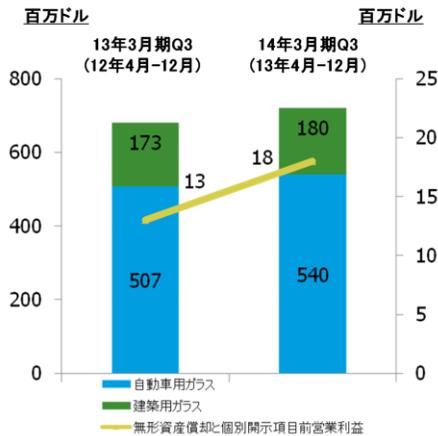
自動車用ガラス事業

- 円安が完成車輸出を後押し
- 消費税増税前の駆け込み需要増
- コスト削減と数量増加により増益

日本の建築用ガラス事業では、新規住宅着工件数が前年より更に増加しており、建築用ガラスの国内市場の見通しは引き続き改善しています。販売価格は前年同期と同様の水準で安定的に推移しました。営業利益も前年同期並みでした。

自動車用ガラス事業では、円安が自動車の輸出を下支えしたほか、消費税引き上げ前の駆け込み需要により国内売上が伸び、OE部門の数量が前年度より増加しました。コスト削減と数量増加により、増益となりました。

北米 2013年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- ソーラー用ガラスの需要減は国内需要増加により相殺
- 国内価格水準は前年度を上回る

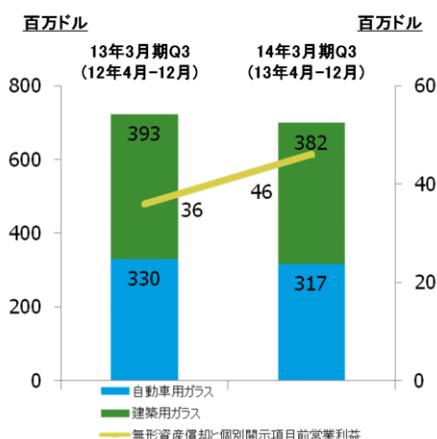
自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラス市場は引き続き改善し、乗用車販売台数は前年比5%増
- 補修(AGR)用ガラスの業績は前年並み

北米の建築用ガラス事業は国内需要の増加が太陽電池用ガラスの出荷の削減による影響を相殺しました。国内販売価格は前年度の水準を上回りました。

北米の新車向け(OE)市場は、乗用車販売台数が前年度と比べて5%増加しており、引き続き改善しました。AGR部門の業績は、前年同期並みとなりました。

その他地域 2013年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 南米および東南アジアは堅調な市場状況
- 現地通貨ベースでは増収

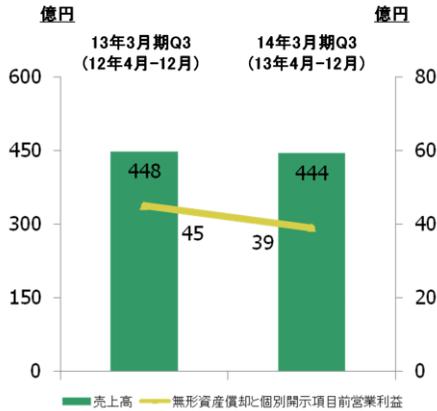
自動車用ガラス事業

- 市況は地域により硬軟混在
- 現地通貨ベースでは増収

その他地域の建築用ガラス事業では、南米と東南アジアの市場環境は需要の増加により改善しました。スライドは米ドル建てで作成しているため反映されていませんが、現地通貨ベースでは増収となりました。

自動車用ガラス事業の市況は地域により硬軟混在する状況でした。現地通貨ベースでは増収となりました。

高機能ガラス事業 2013年3月期第3四半期との比較



高機能ガラス事業

- 数量減が円安効果によって相殺され、売上高は横ばい(特に当第3四半期で)
- オフィス向けプリンター用レンズとガラスコードは市場状況改善

高機能ガラス事業では、数量は減少しましたが、円安影響で日本からの輸出売上金額が増加し、全体売上高は前年同期並みとなりました。

超薄板ガラスの数量はいくらか減少しました。

オフィス向けプリンター用レンズの出荷は前年同期に比べ増加しました。

エンジン・タイミングベルト用ガラスコードの数量は、当社の製品が組み込まれた比較的小型で燃焼効率が高いエンジンを搭載した乗用車の需要が増加しているため、改善しました。

持分法適用会社



億円	14年3月期 4月-12月期	13年3月期 4月-12月期
持分法による投資利益	8	10

- セブラセは需要増により利益改善
- コロンビアでの立ち上げ費用により一部利益を相殺

持分法適用会社の中で最大の事業はブラジルにおける建築用ガラス事業の合弁会社であるセブラセ社です。

セブラセ社の利益は需要の増加により改善しましたが、コロンビアの関連会社で発生した開業前費用により、一部利益が相殺される結果となりました。

2014年3月期第3四半期決算報告
(2013年4月1日～2013年12月31日)



アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- まとめ

まとめ



- 累計第3四半期業績は見通しどおり
- コスト削減により前年比で営業利益改善
- 市場状況は引き続き安定
- リストラ施策は計画通り進捗、生産効率の改善を継続
- 通期業績見通しは変更なし

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高
(2013年4月1日～2013年12月31日)



(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	560	695	179	380	1,814
自動車用ガラス	367	1,029	537	314	2,247
高機能ガラス	231	57	9	147	444
その他	6	1	0	0	7
合計	1,164	1,782	725	841	4,512

償却前 営業利益*
(2013年4月1日～2013年12月31日)



(億円)	建築用ガラス	自動車用ガラス	高機能ガラス	その他	合計
営業利益*	73	67	39	(37)	142

(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
営業利益*	36	35	18	53	142

*: 無形資産償却と個別開示項目前営業利益

為替レート



	2013年3月期 4月-12月	2014年3月期 4月-12月	2014年3月期 前提
期中平均為替レート:			
円/英ポンド	127	156	160
円/ユーロ	102	132	135
円/米ドル	80	99	100
期末為替レート:			
円/英ポンド	142	174	
円/ユーロ	115	145	
円/米ドル	87	105	

NSG
GROUP